

2055

65

| | | | | | |
|-------------|-----|-------------|-------------|-------------|--------|
| 開 期 係 | F.V | 保 期 係 | 3 | 20 | 永 水 |
| | | | 發 付 迄 | 完 結 迄 | 永 水 |

級書類

昭和十年十月四日 起案者 杉印 昭和拾年拾月拾日 杉印 發付後起案者捺印

(主務) 軍務局長 第一課長 總務局員

大臣 / 次官

書記官

軍事普及部 第二課長 幹事 林



昭和十年十月十日 省副官

國際報道寫真協會

代表者 水村伊兵衛宛

寫真攝影許可件通知

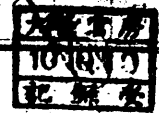
官房第四〇五號

一 軍 臣

| | | |
|-----|------|----|
| 局、部 | 受月日 | 發月 |
| 官房 | 十月八日 | 10 |
| 軍務 | | |
| 人事 | | |
| 教育 | | |
| 軍需 | | |
| 醫務 | | |
| 經理 | | |
| 建築 | | |
| 法務 | | |
| 航空 | | |
| 艦政 | | |
| 軍令 | | |

主務局、部 取扱者捺印

起案部紙甲(花崎納)



海軍

九月十八日附出願ノ首題ノ件、許可セラレ候
詳細ニ関シテハ海軍軍事普及部及横須賀海軍
航空隊ノ指導監督ヲ受テ写真ハ發表前出向
省ノ横関ヲ受クル義トシ知相成度

進テ貴協會ノ写真中要宣傳ニ利用セラレタ
ルモノ有之ヤニ認めラレ候處本写真ノ取扱
ニ関シテハ如斯慮ナキ様充分注意相成度

(終)

官房第二五七號

昭和十年十月十日

省 副官

横須賀副官宛

写真撮影ノ件通知

起案 昇紙 (乙) (富井納)

首題ノ件ニ関シ別紙甲號出願ニ對シ同乙號ノ
通許可セラレ候條可然御取計相成度

(別紙甲乙號係)

(終)

高送付先

昭和拾 年拾月拾 日 發着

横倉引在

事

軍



VERB

TOKIO

副官殿



昭和10年9月20日

海軍省海軍軍事普及部

軍事普及委員長



委員長



主務



獨逸に於ける海軍の発展を紹介する如く、海軍の発展は、海軍の発展に資するものあり。海軍の発展は、海軍の発展に資するものあり。海軍の発展は、海軍の発展に資するものあり。

國際報道



東京 印刷

2058

2059



VERBAND DER INTERNATIONALEN REPORTAGEPHOTOGRAPHIE

TOKIO JAPAN

1935 年 9 月 18 日

軍事普及部

副官

宗と興撮影許可願

九月拾九日

松永

撮影者 木村伊兵衛
山内 光

海軍軍務部
10.9.20
普及部

軍事普及部

今回、貴協会契約者よりドイツ新聞聯合社 (Associated Press G.m.b.H.)
を通じて、海軍軍務局局長より航空兵の教育、生活の寫真を撮影し、
これに紹介致す目的を以て、撮影御許可、並に御指導、御意を
賜へ度く、別紙貴協会に呈呈者、才一圓事業報告書相添にて
御願申し上げます。

軍務局
10.9.23

右國際報道寫真協會

代表者 木村伊兵衛

海軍省
副官 殿

海軍省
副官 殿

國際報道寫真協會



東京都千代田区五丁目五
番地ビル・三階
電話・二九三五番

2058

2059



VERBAND DER INTERNATIONALEN REPORTAGEPHOTOGRAPHIE

TOKIO JAPAN

1935 年 9 月 19. 日

海軍省
副官殿

國際報道寫真協會

代表者 木村伊兵衛

前呈、昨十八日付之以、海軍少年航空兵の生活、教育
の寫真撮影の許可を致し提出し、貴協会の協力を蒙り、
及報告書相添へ申上り可なり。同封申上り可なり。此より、
不取敢、本便に同封送附申上り可なり。
右御子承、御覽息如賜り度存じ可なり。敬具



VERBAND DER INTERNATIONALEN REPORTAGEPHOTOGRAPHIE

TOKIO JAPAN

193 年 月 日

国際報道写真協会報告書(第一回)

昨年八月業務開始以来、最近に至るまでの経過に就て、御参考までに簡単に御報告申し上げます。

- (1) 軍用犬…… Münchner Illustrierte 紙(1934年8月2日。平均発行部数五十二萬部)所載。「日本のドイツ・シェパード犬」(Nippon's Deutsche Schäferhunde)といふ題目で、載せられました。「満洲事變は軍用犬及び警察犬の訓練の非常なる促進を齎したのである云々」の書き出しです。

(2) 舞臺写真

(イ) 復活…… Berliner Illustrirte Zeitung 紙(1934年8月30日。平均発行部数百二十萬部)所載。

(ロ) 想ひ出(アルト・ハイデルベルヒ)…… Illustrierte Presse (Prag) 紙(1934年11月1日。平均発行部数十七萬五千部)所載。

- (3) 農村花嫁學校…… Neue Illustrierte Zeitung 紙(1934年9月13日。平均発行部数二十七萬部)所載。「満洲國のための花嫁」(Bräute für die Mandschurei)の題目の下に「満洲國の占取によつて、日本はその過剰人口のはけ口を幾分見出した云々」の書き出しで、その爲に政府は花嫁の訓練を行つてゐるといふ主旨で書かれて居ります。

Berliner Volks-Zeitung 日曜附録 „Volk im Bild” 紙(1934年12月2日。平均発行部数十萬六千部)所載。「日本は花嫁を教育する」(Japan erzieht die Bräute)の題目です。Deutsche Familien Illustrierte 紙(第二年47號。平均発行部数五萬部)所載。

日「日本は移住婦人を教育する」(Japan erzieht Siedlerfrauen)の題目です。

Estampa (Madrid) 紙(1935年4月27日)所載。“El Estado, Agencia de Matrimonios.—Escuela para las Novias en el Jap'on”の題目です。

- (4) 躍進日本の輸出小工業…… Schweizer Illustrierte Zeitung 紙(1935年1月9日)所載。

「日本のダンピング」(Das Japanische Dumping)の題目で、自轉車及び電球の寫眞を掲げ、「その品物は五分間より保たない。……日本の自轉車を十五



VERBAND DER INTERNATIONALEN REPORTAGEPHOTOGRAPHIE

TOKIO JAPAN

193 年 月 日

フランケンで買った者は、直ちにダンピングとは何かといふ事を知るであらうといふやうな文句が見えます。

Die Woche 紙 (1935年2月2日。平均発行部数十五萬部) 所載。「世界市場への日本の攻撃」(Japans Angriff auf den Weltmarkt) の題目の下に鉛筆、セルロイド人形、自轉車、ゴム靴、石鹼、硝子器、ネクタイ用織物、ワイシャツ、電球等の製造實況の寫眞を掲げ「日本の人口は年々、驚くべき勢で増加してゐる。滿洲國は、北國的風土であるため、南國的な日本人に適しない。故に日本は輸出工業によつて經濟的に優位を保ち、その次代の人々のために生活の空間を得んとしてゐる。それは新しい民族戦である。しかし恐らくは世界のあらゆる部分にとつて最も危險なる戦である。云々」の主旨で書かれて居ります。

Sapere (Italy) 紙 (1935年3月15日) 所載。「日本のダンピング」(Dumping Giapponese) の題目の下に、自轉車、電球、織物の寫眞を使つて居ります。

- (5) 淺草の民衆娛樂……… Illustrierte Zeitung, Leipzig 紙 (1935年4月25日。平均発行部数二萬部) 所載。「日本のヴァリエテ」(Japanisches Varieté) の題目で淺草の寄席の寫眞を用ひて居ります。
- (6) 嫁入前の稽古事……… Der Silberspiegel 紙 (1935年2月5日。平均発行部数三萬二千部) 所載。「東京の花嫁學校」(Brautschule in Tokio) の題目で、茶の湯、繪の稽古、タップダンス、活花、琴と三味線、ピアノ等の寫眞を使用して居ります。
- (7) 東北飢饉 ……… Die Grüne Post 紙 (1935年2月10日) 所載。社會施設の一つとして子供の内職の寫眞を載せて居ります。
- (8) 大學生生活……… Kölnische Illustrierte Zeitung 紙 (1935年1月26日。平均発行部数二十三萬部) 所載。「四萬人の學生が十四の専門學校に於て、東京で生活する。」(40000 Studenten studieren in Tokio auf 14 Hochschulen) の題目です。
- (9) 日本の髪……… Der Silberspiegel 紙 (1935年5月14日) 所載。「東京—伯林の美的信仰」(Schönheitskult Tokio—Berlin) の題目で、伯林の美容院の寫眞を加へて記



VERBAND DER INTERNATIONALEN REPORTAGEPHOTOGRAPHIE

TOKIO JAPAN

1935年 月 日

事にして居ります。なほこの中には「日本の競馬」として送った写真の中の婦人の観衆の写真をも一枚加へて居ります。

- (10) 佛教徒の行事 ……… Die Woche 紙 (1935年4月10日) 所載。「佛陀との合體」(Eins sein mit Buddha) の題目で書いて居ります。當協會より送った写真は、主として日蓮宗の身延山及び中山法華經寺に於ける行事だったのですが、テキスト及び写真の説明は全部、大本教となつて居ります。當方より送った説明を全然無視し、なほ撮影者は Elisabeth Kellner となつてゐるので、當協會ベルリン駐在員より (1) 著作権侵害、(2) 日本人の宗教的感情の無視、の二點に關して嚴重なる抗議を發した由、通信がありました。

以上の題目の外、最近に至るまでに「Y. W. O. A」「カメラデー」「日本の映畫撮影」「菊人形」「少年赤十字大會」「新興ドイツ展」「競馬」「文樂の人形芝居」「結婚式」「京染の實況」「筏乗り」「炙點」「百貨店」「漁村」「シューベルトの戀」「温泉」等を送附しました。この中既に掲載されたものもありますが、掲載紙がドイツ國へ輸入禁止となつてゐるため、不明なものが多いのです。なほ最近に「日本ビールのドイツへの輸出」を送ることになつて居ります。

また數日前、ドイツ新聞聯合社と直接に契約しましたので、間もなく、Associated Press (A.P.) の名の下に發表されるものも多くなる事と存じます。

これまでの経過は大體以上の如くですが、私共が最も残念に思ひますのは、屢々「ダンピング等の歪曲的記事の材料として写真が使用される事」です。また諸外國が、滿洲國及び日本の輸出工業に就て、如何に多くの關心を持つてゐるかと言ふ事も分ると思ひます。これらの事に就て、諸賢の御批判と御指導を仰ぎ度く存じます。

昭和十年六月二十二日

国際報道写真協会



VERBAND DER INTERNATIONALEN REPORTAGEPHOTOGRAPHIE

TOKIO JAPAN

1935年9月19日

報告書(第一回)追加分

- ① „Hamburger Woche“誌 1935年5月11日発行(平均発行部数 54161部)
 ① „Eins sein mit Buddha“ - Das steigende Religionsbedürfnis der Japaner.
- ② „Weekly Illustrated“誌 1935年6月22日号(発行部数約 50,000部) ①
 „Twelve Baths a Day“ - all cold, and They mayn't even dry!
- ③ „Wiener Magazin“誌 1935年6月号 ① „Der Gelbe Film“
- ④ „Neue Jugend“誌 1935年2月24日号(平均発行部数 178171部) ①
 „Fernost filmt“ - In Europa sehen wir japanisches Filme, in Japan dreht man europäisch!
- ⑤ „Wiener Magazin“ 1935年7月号に „Brautschule in Tokio.“
 其他 ドイツ新聞聯合を通じて既に^{確定}発表の通知がなされた以下ありませう。
- ⑥ 100mに世界記録を樹立した志園隆徳君。
- ⑦ 文藝家肖像 „Sind sich alle Japaner ähnlich?“
- ⑧ 人形 „Von Kopf bis Fuss japanisch eingestellt“ (Berliner Illustrierte Zeitung)誌。
- ⑨ „Japanischer Luftschutz“
- ⑩ 華日外務省
- ⑪ „Mann lernt deutsch!“

2064



VERBAND DER INTERNATIONALEN REPORTAGEPHOTOGRAPHIE

TOKIO JAPAN

1935年9月19日

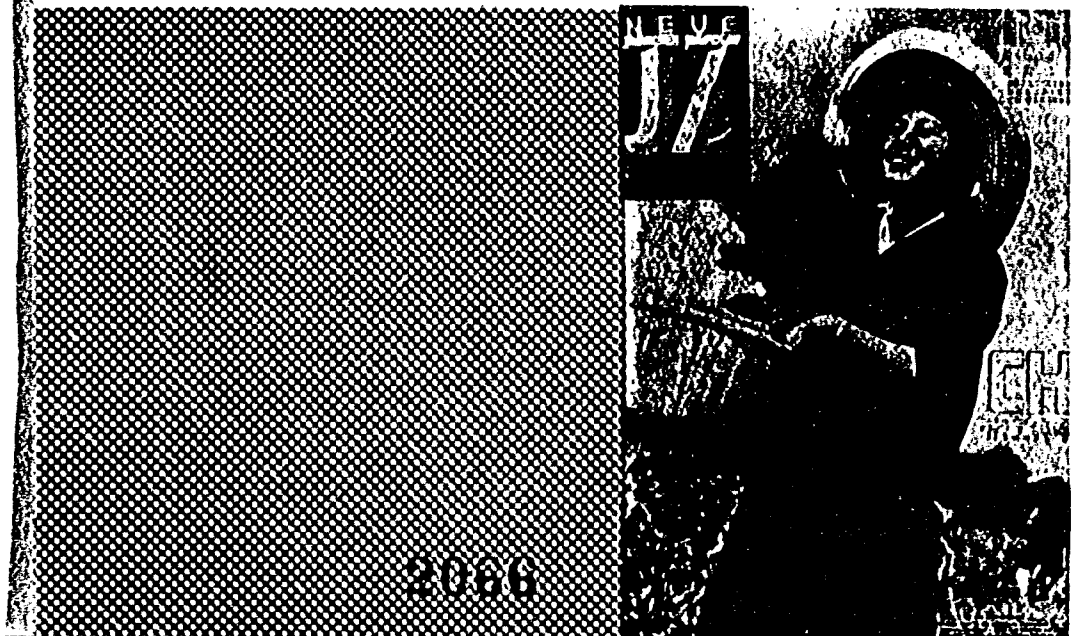
猶以上の如く下記テーマに依りしものをドイツ新聞聯合社を
通じて送致しました。

- ◎ 東京の百貨店
- ◎ 水藝
- ◎ 特別警備隊の訓練
- ◎ 姓名判断
- ◎ 小学生の生活
- ◎ 新聞社の活動
- ◎ 貿易港横浜
- ◎ 日米水泳競技
- ◎ 伯林オリンピック競技に備へる日本の水泳陣、
- ◎ 林銑十郎大將肖像
- ◎ 日本游泳各流演武
- ◎ 画籠真青
- ◎ 加藤寛治大將肖像 艦上
- ◎ "Patriot-84" 兒童号第一号艇用材を獻納せし兒童連と獻納式。

2065

1945
1946
1947
1948
1949
1950
1951
1952
1953
1954
1955
1956
1957
1958
1959
1960
1961
1962
1963
1964
1965
1966
1967
1968
1969
1970
1971
1972
1973
1974
1975
1976
1977
1978
1979
1980
1981
1982
1983
1984
1985
1986
1987
1988
1989
1990
1991
1992
1993
1994
1995
1996
1997
1998
1999
2000
2001
2002
2003
2004
2005
2006
2007
2008
2009
2010
2011
2012
2013
2014
2015
2016
2017
2018
2019
2020
2021
2022
2023
2024
2025

日本新聞写真協会設立の主旨



拜啓 時下益々御清適の段慶賀の至りに存じます。此度、中央工房同人に更に、岡本達、山内光、松山虔三を加へて、「國際報道寫眞協會」(略稱「IRP」)を設立しました事を御通知申し上げます。

現在日本の國際的飛躍は、産業に文化に、目覚しきものがあり、世界の眼は、悉く日本に注がれて居りますが、更に更に、正しい日本の姿を海外に宣傳發揚し、その優越性と獨自性を認識せしめる事は、あらゆる方面からの最喫緊事でありませう。しかし従來の如き紹介宣傳は效果少いばかりでなく、徒に過去の日本にのみ限られて躍進日本の實相の報道は殆んど爲されてゐなかつたのであります。ここに於て私共は、現代の濶濶たる日本の姿を描寫するに最も適した寫眞によつて偽らざる事實の報道を行ふのみならず、Inter-Photo, Mauritius, Oswald 等の有力なる寫眞通信社と提携して、世界各國の新聞雜誌に寫眞を提供し、最も力強く世界大衆に呼びかける事と致しました。既に Berliner Illustrirte Zeitung, Die Woche, Neue Illustrirte Zeitung, Die Grüne Post, Der Silberspiegel, Illustrirte Zeitung (Leipzig), Kölnische Illustrirte Zeitung, Münchner Illustrirte Zeitung, Illustrirte Presse (Prag), Schweizer Illustrirte Zeitung, Voila (Paris), Supere (Roma e Milano) 其他の刊行に發表されたものも御座ります。

しかし殆んど犠牲的な努力による外ない現状で御座りますから、何卒御後援の程御願ひ申し上げます。なほ題材によつては、撮影の御許可を御願ひ申し上げます。御座りますので、その際には御便宜御取計ひ下さるよう御願ひ申し上げます。後日、種々の御迷惑は一切おかけ致さないで御座りますから、何卒御盡力の程懇願致します。敬白

昭和十年六月一日

國際報道寫眞協會

京橋區銀座西五丁目五
西銀座ビル・中央工房内
電話・銀座二九三五番

2067

irp

8902

3

ドイツの工場（日本の戦時工業の模倣）



イギリスの工場（日本の戦時工業の模倣）



ノイエニールムストリルテ・ツァイトウング誌表紙（花嫁模倣）